

PHP 超入門 「配列」 章の基本概念確認問題

パターン 1

範囲： 当スクールの PHP 超入門の「配列」

実施日： 年 月 日 (曜日)

資料作成者：神田 IT スクール コンテンツ開発部

開始時間： 時 分 終了時間： 時 分

制限時間：1 時間

座席番号： 氏名： 会社名：

目的：

配列の基本概念、理解度チェック & フォローを行うこと。

回答方法：

※eclipse を使用して、プログラムを作成してください。

※テキストは使ってよい。インターネットは使ってはいけません。

※制限時間は厳守してください。

※取得した PDF ファイルを「Adobe Acrobat Reader DC」で開いてください。

★Adobe Acrobat Reader DC の使い方については下記でご確認ください。

URL： https://drive.google.com/drive/u/2/folders/1j28jbwdwSGZpxSlozVrvxgm5rS_BfRN5

提出までの進め方：

Step1 ■上記で記入する項目を記入したかどうか確認し、以下にチェックを入れてください。（※通学時のみ）

- ☐ 「実施日」を記入しました。
- ☐ 「開始時間」を記入しました。
- ☐ 「座席番号」を記入しました。
- ☐ 「氏名」を記入しました。
- ☐ 「会社名」を記入しました。

Step2 ■配布された問題が表紙を含めて 5 ページで構成されているか確認します。

Step3 ■Eclipse のプロジェクトエクスプローラーのファイルは全てバックアップを取り、削除します。

Step4 ■プロジェクトを「checkArrayTest01_名字のローマ字」として作成します。

Step5 ■制限時間は厳守してください。

すべてのプログラムが完成、もしくは制限時間に達したら作業を止めます。

※ただし、残り数行で書き終わる等、目途が立っている場合は最後まで仕上げていただいて構いません。

Step6 ■すべてのプログラムが完成したら、終了時間を記入します。 ※通学時のみ

Step7 ■プロジェクトを zip で圧縮し、提出フォームから提出してください。

Step8 ■本紙を講師に提出してください。 ※通学時のみ

確認問題.以下の空白に入る単語を記述しなさい。

※こちらはテキストなどを最初は見ないようにする

() ()

\$score = array(32, 75, 85);

\$score['点数'] = 50;

\$score

()

32	75	85	50
\$score[0]	\$score[1]	\$score[2]	\$score['点数']

()

()

()

\$age = array ('A' => '20才', 'B' => '25才');

- 【語群】
- ①array関数 ②, (カンマ) ③宣言
④データ (要素) ⑤ 配列変数 ⑥文字列キー
⑦連想配列

「 」ageを「 」し、
「 」を使用し「 」を
まとめて配列に代入する。

この配列は「 」なので、
配列に格納する場合は、
「 」=> 「 」と記述し、
複数格納する場合は、「 」で
区切って記述を行う。

問1. 10,20,30,40,50 の 5 つの要素を持つ配列を作成し、4 番目の値を表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名 : ArrayTest01_01

ヒント : 配列の基本、配列の利用方法

【仕様】

Step① 配列変数\$array を宣言し、10,20,30,40,50 の 5 つの要素を代入する

Step② 整数値キー[3]の値を出力する。

【実行結果】

整数値キー3の値は「40」です。

問2. 10,20,30,40,50 の要素を持つ配列を作成し、「2 番目の要素」と「インデックス番号 4 の要素」の値を表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名 : ArrayTest01_02

ポイント : 配列の基本、配列の利用方法

【仕様】

Step① 配列変数\$array を宣言し、10,20,30,40,50 の 5 つの要素を代入する

Step② 整数値キー[1]の値を出力する。

Step② 整数値キー[4]の値を出力する。

【実行結果】

2 番目の要素 : 20

インデックス番号「4」の要素 : 50

問3. 名前、性別、年齢の3つのプロフィールが格納された連想配列の各要素の値を表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名 : ArrayTest01_03

ヒント : 配列の利用方法

【仕様】

Step① 以下のキーと要素を持つ連想配列を作成し、配列変数\$profileに代入する。

文字列キー : 名前 要素 : 神田太郎

文字列キー : 性別 要素 : 男

文字列キー : 年齢 要素 : 23

Step② 配列変数\$profileの要素を使って文章を出力する。

【実行結果】

私の名前は「神田太郎」です。

男です。

23 歳です。

問4. 東口、西口、南口、北口の4つの要素を持つ連想配列を作り、実行結果のメッセージを表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名 : ArrayTest01_04

ヒント : 配列の利用方法

【仕様】

Step① 配列変数\$directionに以下の文字列値キーに対して要素を代入する。

文字列キー : east 要素 : 東口

文字列キー : west 要素 : 西口

文字列キー : south 要素 : 南口

文字列キー : north 要素 : 北口

Step② 配列変数\$directionの要素を使って文章を出力する。

【実行結果】

神田駅の「南口」または「東口」が神田 IT スクールに近い出口です。

問5. 電気街口改札,中央改札,昭和通り口改札の 3 つの要素を持つ配列を作り、実行結果のメッセージを表示するプログラムを作成しなさい。

ファイル名 : ArrayTest01_05

ヒント : 配列の利用方法

【仕様】

Step① 配列変数\$direction に以下の整数値キーに対して要素を代入する。

整数値キー : 1 要素 : 電気街口改札

整数値キー : 2 要素 : 中央改札

整数値キー : 3 要素 : 昭和通り口改札

Step② 配列変数\$direction の要素を使って文章を出力する。

【実行結果】

秋葉原駅の「昭和通り口改札」が神田 IT スクールに近い出口です。